

創立144周年



学校だより
は南風の子

中種子町立
南界小学校
平成29年10月6日

何事にも全力で・・・

校長 吉留 巧

9月19日(火)、来賓・保護者・地域のたくさんの方々の観覧のもと、運動会を開催しました。台風の影響で小学校だけの運動会となりましたが、子どもたちは一生懸命自分たちの練習の成果を見せてくれました。皆様の大きな声援に感謝いたします。

ところで話は変わりますが、ルネサンスの三大発明(羅針盤・火薬・活版印刷)の一つ、印刷技術を発明したのは、ヨハネス・グーテンベルクです。その発明は、ルネサンス期の情報伝達の速度を飛躍的に向上させ、現在の印刷技術の基本となっています。

そのグーテンベルクの発明逸話です。当時の印刷は、広い一枚の鉄板に文字を刻み、印刷をしていました。ある日彼は、長い文章を何日もかけて鉄板を刻み、もう少しで終わるところでしたが、一文字間違っただけで刻んでしまい、また最初からやり直しになってしまいました。「たった一文字の間違いで・・・」「たった一文字」の悔しい思いをしたがために彼に名案を思い付かせたのです。一字一字を切り離して箱に並べ、間違っただけの場所に正しい字を並べ、一枚に活版にしました。その後、文字さえ準備すれば、どんな文章でもすぐに活版ができ、印刷のスピードが格段に早くなりました。1回のミスが大発明につながったのです。

子供たちの生活を振り返ってみると成功とともに数多くの失敗があります。怠けやいい加減な態度をとったおかげで人に迷惑をかけてしまう失敗、チャレンジした結果の失敗、自分なりに一生懸命やったけど成し遂げられなかった失敗などです。

うまくいかなかった(失敗した)時に、次に何を考えるかです。「無理だ。」「あきらめよう。」などネガティブに思うか、「もう一度」「今度は違う方法で」などポジティブに思うか。やはり再度トライする、何事にも全力で取り組んでほしいと思います。「失敗は成功のもと」よく耳にします。そこから成長があります。

これから12月に向け、町民体育祭・相撲大会・陸上記録会・学習発表会・音楽会・持久走大会と続きます。難しくても上を目指して頑張る子供たちの姿を期待しています。

【10月3日の全校朝会の講話より】



今年の十五夜は10月4日でした。「中秋の名月」として豊穰を感謝しお供えものをして月をめぐる習慣があります。また、日本では古来より、月にはウサギがいて餅をついていると言われていました。これは、インドの神話のもとになりアジアでは月にはウサギがいるという話が多いそうです。

しかし、世界各地には月にまつわる多くの神話や伝説があり、月の表面の模様も国民性によってずいぶんいろいろな見方があることを話しました。そして、いろいろな考え方や文化に触れることが大切です。今夜や明日の夜に、家族で月を眺めて、ウサギさん以外にいろいろな模様が見えるか月を見てみましょうと話しました。家族で月を見上げてみましたか。



ウサギ
【アジア】



本を読む女の人
【北ヨーロッパ】



横向きの女性
【東ヨーロッパ】



かに
【南ヨーロッパ】



ライオン
【アラビア】